## [2-6]

湾・灘の区分	備讃瀬戸
取組の名称	下水処理場における栄養塩類管理運転(香東川浄化センター)
事業期間及び事業費	事業期間: 平成 23 年 10 月~継続中
	事業費: 無し
事業体制	高松市下水道施設課 香東川浄化センター
事業の背景・目的	近年、ノリの色落ちが問題化しており、漁業関係者から栄養塩類を多く放
	流してほしいとの要望があったことから、季別運転を平成23年度から試行
	的に開始した。
事業場所の詳細	番川県
	高松 港湾区域 香東川浄化センター 放流口 のり養殖地
事業内容	冬季(11月~3月)のノリ養殖時期に合わせて香東川浄化センターの硝
	化抑制を行い、放流水中の窒素を増加させる運転を試行している。
	処理フロー ※流入下水、初沈流出水流入槽は◎
	通常時 ◎嫌気 好気 ◎嫌気 好気
	栄養塩増加時 ◎嫌気 嫌気 好気
効果・影響のモニタリン	放流水及び放流先海域の水質調査を運転管理時に実施している。水質
グ手法(時期、場所、項	検査項目は窒素分(アンモニア性窒素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、全
目、把握すべき事項等)	室素等)。

【放流水質データ(平成24年度)】 (続き)効果・影響のモニ タリング手法(時期、場 所、項目、把握すべき事 項等) 20 平成26年度 硝化抑制法 平成25年度 15 硝化抑制法 平成24年度 醋化抑制法 10 平成23年度 平成21年度 磺化脱奎法 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 出典:「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」(香川県土木下 水道課、平成 27 年 12 月 17 日) 図 放流水中の窒素濃度の経年変動 平成21年度放流水 形態別窒素濃度の変動 平成23年度放流水 形態別室素濃度の登録 (2/Ju) 8 ■有微性窒素 = 有微性窒素 ■アンモニア住室素●亜硝酸住室素 ■アンモニア住産素■亜硝酸住産素 - 研發性变素 ■ 研酸性窒素 E E E E E E E E E E E E E 平成24年度放流水 形態別窒素濃度の変動 平成25年度放流水 形態別窒素濃度の変動 ■有偿性窒素 ■有機性窒素 ■アンモニア性窒素 ■亜硝酸性窒素 ■アンモニア住室素 ■亜硝酸性窒素 ■研修性変素 ■硝酸性窒素 平成26年度放流水 形態別窒素濃度の受験 ■有機性窒素 ■アンモニア性窒素■亜純酸性窒素 ■ 研設性変素 出典:「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」(香川県土木下 水道課、平成 27 年 12 月 17 日) 図 季別運転前(H21)と実施時(H23~26)の 放流水中形態別窒素濃度の変動 取組による効果・影響及 季別運転による効果・影響の確たる判断基準はないが、現時点でノリの色 落ちに関して、状況悪化の報告はない。 びその判断基準等 効果・影響等については特段のモニタリングを行っていない。 モニタリングの留意点等 現状での課題 ノリの色落ちに関して季別運転との因果関係が定かではなく、赤潮の発生 への影響も考慮して実施する必要がある。 今後の予定等 令和元年度においても実施予定。 取組事例についての発 「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」 表資料等 平成27年12月17日香川県土木部下水道課作成資料 情報提供元 高松市 都市整備局 下水道部 下水道施設課